

第49回 バトンワーリング全国大会九州予選

審 査 要 領
審 査 規 定



日本バトン協会九州支部

1. 審査員長・副審査員長・審査員・審判員

小学校

中学校

高等学校

大学

〈バトン編成〉 〈ポンポン編成〉

(1) 審査員長

- ① 審査員長は1名とし、審査全般の最終判定を行うとともに審査審判を円滑に遂行する。
- ② 下記の規定を審査する。
 - ア. 実施規定 3. 構成 4. 手具編成
 - イ. ノードロップ/転倒

(2) 副審査員長

- ① 副審査員長は1名とし、審査員長を補佐する。
- ② 下記の規定を審査する。
 - ア. 実施規定 3. 構成 4. 手具編成
 - イ. ノードロップ/転倒
- ③ 審判員より違反の報告を受けたら内容の確認を行い審査員長に報告する。

(3) 審査員

〈バトン編成〉

- ① 審査員は5名とし、下記の内容を審査基準に基づき総合評価で審査する。
 - ア. 作品完成度
 - イ. 全体的効果
 - ウ. パフォーマンス
 - a, ステージング
 - b, バトントワーリング
 - c, ボディワーク

〈ポンポン編成〉

- ① 審査員は5名とし、下記の内容を審査基準に基づき総合評価で審査する。
 - ア. 作品完成度
 - イ. 全体的効果
 - ウ. パフォーマンス
 - a, ステージング
 - b, ポンポン技術
 - c, ボディワーク

(4) 審判員

- ① 審判員は罰則を判断した場合に副審査員長に報告する。
- ② 審判員は2名とする。
- ③ 審判員は下記の規定を審判する。
 - ア. 実施規定 3. 構成 4. 手具編成 5. 演技
 - イ. ノードロップ/転倒

2. 成績・成績判定・表彰

小学校 中学校 高等学校 大学

〈バトン編成〉 〈ポンポン編成〉

(1) 成績

- ① 審査規定1.(3)の項目を審査基準に基づき100点法にて小数点第1位を付けて採点する。
- ② 審査員の合計点を算出し 平均点を各団体の得点とする。
- ③ 全国大会推薦枠の最終枠に関係する同得点団体のみ、次の優先順位に従って推薦団体を決定する。
 - 優先順位1. 各審査員の得点により、席次点を算出し全審査員の席次点合計を集計する。
 - 優先順位2. 全審査員の投票により決定する。

(2) 成績判定

小学校 中学校

〈バトン編成〉〈ポンポン編成〉

- ①各団体の得点に従い金賞・銀賞・銅賞と判定する。
 - 金賞:80点以上
 - 銀賞:65点以上80点未満
 - 銅賞:65点未満
- ★得点配分は上位大会推薦団体を金賞とする。

高等学校 大学

<バトン編成> <ポンポン編成>

①各団体の得点に従い金賞・銀賞・銅賞と判定する。

金賞:85点以上

銀賞:70点以上85点未満

銅賞:70点未満

★得点配分は上位大会推薦団体を金賞とする。

(3) 表彰

①全出場団体に、金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与する。

②金賞受賞団体に副賞を授与する。

☆ノードロップ賞☆

バトン編成の出場団体に対してバトンが一度も落下しなかった団体に、ノードロップ賞を授与する。

1. 審査員長・副審査員長・審査員・審判員

U-12

U-15

U-18

OPEN

〈バトン編成〉 〈ペップアーツ編成〉

(1) 審査員長

- ① 審査員長は1名とし、審査全般の最終判定を行うとともに審査審判を円滑に遂行する。
- ② 下記の規定を審査する。
 - ア. 実施規定 3. 構成 4. 手具編成
 - イ. ノードロップ/転倒

(2) 副審査員長

- ① 副審査員長は1名とし、審査員長を補佐する。
- ② 下記の規定を審査する。
 - ア. 実施規定 3. 構成 4. 手具編成
 - イ. ノードロップ/転倒
- ③ 審判員より違反の報告を受けたら内容の確認を行い審査員長に報告する。

(3) 審査員

〈バトン編成〉

- ① 審査員は5名とし、下記の内容を審査基準に基づき総合評価で審査する。
 - ア. 作品完成度
 - イ. 全体的効果
 - ウ. パフォーマンス
 - a, ステージング
 - b, バトントワーリング
 - c, ボディワーク

〈ペップアーツ編成〉

- ① 審査員は5名とし、下記の内容を審査基準に基づき総合評価で審査する。
 - ア. 作品完成度
 - イ. 全体的効果
 - ウ. パフォーマンス
 - a, ステージング
 - b, 手具技術
 - c, ボディワーク

(4) 審判員

- ① 審判員は罰則を判断した場合に副審査員長に報告する。
- ② 審判員は2名とする。
- ③ 審判員は下記の規定を審判する。
ア. 実施規定 3. 構成 4. 手具編成 5. 演技
イ. ノードロップ/転倒

2. 成績・成績判定・表彰

U-12 U-15 U-18 OPEN

<バトン編成><ペップアーツ編成>

(1) 成績

- ① 審査規定1.(3)の項目を審査基準に基づき100点法にて小数点第1位を付けて採点する。
- ② 審査員の合計点を算出し 平均点を各団体の得点とする。
- ③ 全国大会推薦枠の最終枠に関する同得点団体のみ、次の優先順位に従って推薦団体を決定する。

優先順位1. 各審査員の得点により、席次点を算出し全審査員の席次点合計を集計する。

優先順位2. 全審査員の投票により決定する。

(2) 成績判定

U-12 U-15

<バトン編成><ペップアーツ編成>

- ①各団体の得点に従い金賞・銀賞・銅賞と判定する。

金賞:80点以上

銀賞:65点以上80点未満

銅賞:65点未満

★得点配分は上位大会推薦団体を金賞とする。

U-18 OPEN

<バトン編成><ペップアーツ編成>

①各団体の得点に従い金賞・銀賞・銅賞と判定する。

金賞:85点以上

銀賞:70点以上85点未満

銅賞:70点未満

★得点配分は上位大会推薦団体を金賞とする。

(3) 表彰

①全出場団体に、金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与する。

②金賞受賞団体に副賞を授与する。

☆ノードロップ賞☆

バトン編成の出場団体に対してバトンが一度も落下しなかった団体に、ノードロップ賞を授与する。

小学校 中学校 < バトン編成 >

バトン技術の上限を バトントワーリング技能ライセンス1級までとする

【審査内容】

作品完成度

- ・ドロップやミスのない到達度の高い、完成された作品
- ・自信ある演技や観客への作品アピール
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・統一されたグループスタイルやリズム、タイミング
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング
- ・フロア、立体によるステージングデザイン

全体的効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・作品や音楽への理解、解釈
- ・集団美と統一美を基調とした作品
- ・基本に正確なバトンとボディワークによるグループデザイン
- ・点、線、立体のデザインやフロアワーク
- ・観客への作品アピールやコミュニケーション
- ・衣装の色彩やデザインと作品の調和

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と一致したステージング
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開
- ・ポジションや方向によるフロアデザイン
- ・ステージングとバトン、ボディワークの組み合わせ
- ・バトンによる点、線、立体の使い方

バトントワーリング

- ・グループ全員のバトンテクニック
- ・バトンリズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・テーマに合ったバトンの使い方
- ・グループトワールの多様性
- ・バトンとボディワーク、ステージングの組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニック
- ・ボディワークと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・テーマに合ったボディワークの使い方
- ・ボディワークの多様性
- ・ボディワークとバトン、ステージングの組み合わせ

小学校

中学校

＜ポンポン編成＞

ポンポン技術の上限を ポンポン中級までとする

【審査内容】

作品完成度

- ・転倒、ドロップやミスのない到達度の高い、完成された作品
- ・自信ある演技や観客への作品アピール
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・統一されたグループスタイルやリズム、タイミング
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング
- ・フロア、立体によるステージングデザイン

全体的効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・作品や音楽への理解、解釈
- ・集団美と統一美を基調とした作品
- ・基本に正確なポンポン技術とボディワークによるグループデザイン
- ・点、線、立体のデザインやフロアワーク
- ・観客への作品アピールやコミュニケーション
- ・衣装の色彩やデザインと作品の調和

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と一致したステージング
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開
- ・ポジションや方向によるフロアデザイン
- ・ステージングとポンポン、ボディワークの組み合わせ
- ・ポンポンによる点、線、立体の使い方

ポンポン技術

- ・グループ全員のポンポンテクニック
- ・ポンポンリズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・テーマに合ったポンポンの使い方
- ・ポンポンワークの多様性
- ・ポンポンとボディワーク、ステージングの組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニック
- ・グループ全員の意識あるボディコントロール
- ・ボディワークと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・テーマに合ったボディワークの使い方
- ・ボディワークの多様性
- ・ボディワークとポンポン、ステージングの組み合わせ

高等学校 大学 < バトン編成 >

バトン技術の上限を バトントワーリング技能ライセンス1級までとする

【審査内容】

作品完成度

実施

- ・ドロップやミスのない到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性
- ・グループとしての均一性，同調性
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング

表現

- ・作品のテーマを主張した，視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技，リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル，ハーモニーのバランス
- ・フロア，立体によるステージングデザイン

全体的効果

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・集団美と統一美を基調とした作品
- ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成
- ・衣装の色彩やデザインが作品と調和

演技効果

- ・作品の理解，解釈
- ・音楽の理解，解釈
- ・基本に正確なバトンとボディワークによるグループデザイン
- ・バトンによる点，線，立体のデザイン
- ・ポジションや方向，高低，遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカルティー，観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と一致したステージング
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開と多様性
- ・ポジションや方向，高低，遠近感によるフロアワークの多様性
- ・ステージングとバトンやボディワークの組み合わせ
- ・バトンによる点，線，立体のデザインの使い方

バトントワーリング

- ・グループ全員のバトンテクニック
- ・バトンリズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム，タイミングの統一性
- ・グループトワールの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなバトンの使い方
- ・バトンとボディワークやステージングの組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニック
- ・グループ全員の意識あるボディコントロール
- ・音楽やリズムとの調和
- ・グループスタイルやリズム，タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークとバトンやステージングの組み合わせ

高等学校 大学 <ポンポン編成>

【審査内容】

作品完成度

実施

- ・転倒やミスのない到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性
- ・グループとしての均一性、同調性
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング

表現

- ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス
- ・フロア、立体によるステージングデザイン

全体的効果

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・集団美と統一美を基調とした作品
- ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成
- ・衣装やポンポンの色彩やデザインが作品と調和

演技効果

- ・作品の理解、解釈
- ・音楽の理解、解釈
- ・基本に正確なポンポンとボディワークによるグループデザイン
- ・ポンポンによる点、線、立体のデザイン
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカリティ、観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と一致したステージング
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開と多様性
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワークの多様性
- ・ステージングとポンポンやボディワークの組み合わせ
- ・ポンポンによる点、線、立体のデザインの使い方

ポンポン技術

- ・グループ全員のポンポンテクニック
- ・ポンポンリズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・ポンポンワークの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなポンポンの使い方
- ・ポンポンとボディワークやステージングの組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニック
- ・グループ全員の意識あるボディコントロール
- ・音楽やリズムとの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークとポンポンやステージングの組み合わせ

U-12 U-15 < バトン編成 >

バトン技術の上限を バトントワーリング技能ライセンス1級までとする

【審査内容】

作品完成度

- ・ドロップやミスのない到達度の高い、完成された作品
- ・自信ある演技や観客への作品アピール
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・統一されたグループスタイルやリズム、タイミング
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング
- ・フロア、立体によるステージングデザイン

全体的効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・作品や音楽への理解、解釈
- ・集団美と統一美を基調とした作品
- ・基本に正確なバトンとボディワークによるグループデザイン
- ・点、線、立体のデザインやフロアワーク
- ・観客への作品アピールやコミュニケーション
- ・衣装の色彩やデザインと作品の調和

パフォーマンスステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と一致したステージング
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開
- ・ポジションや方向によるフロアデザイン
- ・ステージングとバトン、ボディワークの組み合わせ
- ・バトンによる点、線、立体の使い方

バトントワーリング

- ・グループ全員のバトンテクニック
- ・バトンリズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・テーマに合ったバトンの使い方
- ・グループトワールの多様性
- ・バトンとボディワーク、ステージングの組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニック
- ・ボディワークと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・テーマに合ったボディワークの使い方
- ・ボディワークの多様性
- ・ボディワークとバトン、ステージングの組み合わせ

ポンポン技術の上限を ポンポン中級までとする

【審査内容】

作品完成度

- ・転倒, ドロップやミスのない到達度の高い, 完成された作品
- ・自信ある演技や観客への作品アピール
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・統一されたグループスタイルやリズム, タイミング
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング
- ・フロア, 立体によるステージングデザイン

全体的効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・作品や音楽への理解, 解釈
- ・集団美と統一美を基調とした作品
- ・基本に正確な手具技術とボディワークによるグループデザイン
- ・点, 線, 立体のデザインやフロアワーク
- ・観客への作品アピールやコミュニケーション
- ・衣装やプロップの色彩やデザインと作品の調和

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と一致したステージング
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開
- ・ポジションや方向によるフロアデザイン
- ・ステージングと手具, ボディワークの組み合わせ
- ・手具による点, 線, 立体の使い方

手具技術

- ・グループ全員の手具テクニック
- ・手具リズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム, タイミングの統一性
- ・テーマに合った手具の使い方
- ・手具操作の多様性
- ・手具とボディワーク, ステージングの組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員の本ディテクニック
- ・グループ全員の意識あるボディコントロール
- ・ボディワークと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム, タイミングの統一性
- ・テーマに合ったボディワークの使い方
- ・ボディワークの多様性
- ・ボディワークと手具, ステージングの組み合わせ

U-18 < バトン編成 >

【審査内容】

作品完成度

実施

- ・ドロップやミスのない到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性
- ・グループとしての均一性，同調性
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング

表現

- ・作品のテーマを主張した，視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技，リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル，ハーモニーのバランス
- ・フロア，立体によるステージングデザイン

全体的効果

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・集団美と統一美を基調とした作品
- ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成
- ・衣装の色彩やデザインが作品と調和

演技効果

- ・作品の理解，解釈
- ・音楽の理解，解釈
- ・基本的に正確なバトンとボディワークによるグループデザイン
- ・バトンによる点，線，立体のデザイン
- ・ポジションや方向，高低，遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカリティ，観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と一致したステージングや動きの組み合わせ
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開と多様性
- ・ポジションや方向，高低，遠近感によるフロアワークの多様性
- ・ステージングとバトンやボディワークの組み合わせ
- ・バトンによる点，線，立体のデザインの使い方
- ・独創的でエフェクティブなステージング

バントワーリング

- ・グループ全員のバトンテクニック
- ・バトンリズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム，タイミングの統一性
- ・グループトワールの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなバトンの使い方
- ・バトンとボディワークやステージングの組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニック
- ・グループ全員の意識あるボディコントロール
- ・音楽やリズムとの調和
- ・グループスタイルやリズム，タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークとバトンやステージングの組み合わせ

U-18 < ペップアーツ編成 >

【審査内容】

作品完成度

実施

- ・転倒、ドロップやミスのない到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識がありグループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性
- ・グループとしての均一性、同調性
- ・正確なポジションワークと流れあるステージング

表現

- ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス
- ・フロア、立体によるステージングデザイン

全体的効果

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・集団美と統一美を基調とした作品
- ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成
- ・衣装やプロップの色彩やデザインと作品の調和

演技効果

- ・作品の理解、解釈
- ・音楽の理解、解釈
- ・基本に正確な手具とボディワークによるグループデザイン
- ・手具による点、線、立体のデザイン
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカリティ、観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性
- ・音楽と一致したステージングや動きの組み合わせ
- ・スムーズで流れのあるフォーメーションの展開と多様性
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアデザイン
- ・ステージングと手具やボディワークの組み合わせ
- ・手具による点、線、立体のデザインの使い方
- ・独創的でエフェクティブなステージング

手具技術

- ・グループ全員の手具テクニック
- ・手具リズムと音楽リズムの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・手具操作の多様性、複雑性
- ・テーマに合ったエフェクティブな手具の使い方
- ・手具とボディワークやステージングの組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニック
- ・グループ全員の意識あるボディコントロール
- ・音楽やリズムとの調和
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークとバトンやステージングの組み合わせ

OPEN < バトン編成 >

【審査内容】

作品完成度

実施

- ・ドロップやミスのない到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識が高く、グループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性、多様性
- ・グループとしての均一性、同調性
- ・正確なポジションワークと困難度あるステージングの展開

表現

- ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス
- ・フロア、立体、空間によるステージングデザイン

全体的効果

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・集団美が活かされた作品
- ・創作的で独創的な多様性あるプログラム構成
- ・衣装の色彩やデザインが作品と調和

演技効果

- ・作品の理解、解釈
- ・音楽の理解、解釈
- ・正確で優秀なバトンとボディワークによるグループデザイン
- ・フロア、点、線、立体、空間によるデザイン
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカリティ、観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性、優秀さ
- ・音楽と一致したステージングや動きの困難度ある組み合わせ
- ・スムーズで困難度あるフォーメーションの展開と多様性
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアデザインの多様性
- ・ステージングとバトンやボディワークの困難度ある組み合わせ

バトンワーリング

- ・グループ全員のバトンテクニックの正確さ、優秀さ
- ・バトンリズムと音楽リズムの一致
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・トワーリングの多様性、困難度
- ・グループ技術の複雑性
- ・テーマに合ったエフェクティブなバトンの使い方
- ・バトンによる点、線、立体、空間の工夫ある使い方
- ・バトンとボディワークやステージングの困難度ある組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニックの正確さ、優秀さ
- ・グループ全員の優秀なボディコントロール
- ・音楽やリズムとの一致
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性、困難度
- ・グループ演技の複雑性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークとバトンやステージングの困難度ある組み合わせ

OPEN < ペップアーツ編成 >

【審査内容】

作品完成度

実施

- ・転倒、ドロップやミスのない到達度の高い、完成された作品
- ・個々の責任意識が高く、グループプレーや協調性の高い演技
- ・リズムやタイミングの統一性、多様性
- ・グループとしての均一性、同調性
- ・正確なポジションワークと困難度あるステージングの展開

表現

- ・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現
- ・観客への作品アピールやショーマンシップ
- ・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力
- ・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス
- ・フロア、立体、空間によるステージングデザイン

全体的効果

作品効果

- ・明確なテーマとプログラムコンセプト
- ・視覚と聴覚の一体性
- ・集団美が活かされた作品
- ・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成
- ・衣装やプロップの色彩やデザインと作品の調和

演技効果

- ・作品の理解、解釈
- ・音楽の理解、解釈
- ・正確で優秀な手具操作とボディワークによるグループデザイン
- ・フロア、点、線、立体、空間によるデザイン
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク
- ・ミュージカリティ、観客への作品アピールやコミュニケーション

パフォーマンス

ステージング

- ・グループ全体のムーブメントの統一性、優秀さ
- ・音楽と一致したステージングや動きの困難度ある組み合わせ
- ・スムーズで困難度のあるフォーメーションの展開と多様性
- ・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアデザインの多様性
- ・ステージングと手具やボディワークの困難度ある組み合わせ

手具技術

- ・グループ全員の手具テクニックの正確さ、優秀さ
- ・手具リズムと音楽リズムの一致
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・手具操作の多様性、困難度
- ・テーマに合ったエフェクティブな手具の使い方
- ・グループ技術の複雑性
- ・手具による点、線、立体、空間の工夫ある使い方
- ・手具とボディワークやステージングの困難度ある組み合わせ

ボディワーク

- ・グループ全員のボディテクニックの正確さ、優秀さ
- ・グループ全員の優秀なボディコントロール
- ・音楽やリズムとの一致
- ・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性
- ・ボディワークの多様性、困難度
- ・グループ演技の複雑性
- ・テーマに合ったエフェクティブなボディワークの使い方
- ・ボディワークと手具やステージングの困難度ある組み合わせ

